

平成30年度村政懇談会追跡調査表

地区名	番号	質問内容	回答者		担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況		
							平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在
石神	1	〇〇について	〇〇部長	〇〇部	〇〇課	①対応済み	・〇〇した(〇月実施)	同左	同左
石神	1	竹瓦区内の道路の補修について	村長	建設部	都市整備課	①対応済み	生活道路については今年度より計画的に修繕を進めていく。(当日回答)		
石神	2	久慈川堤防の草刈りについて	村長	建設部	都市整備課	①対応済み	管轄が国交省の分と村の分があるため、村の草刈りのタイミングに合わせて実施できるよう調整。		
石神	3	竹瓦橋の道標、文化遺産の継承伝達について	村長	教育委員会	生涯学習課	①対応済み	・(仮称)歴史と未来の交流館の建設と同時に発見していきたい。(当日回答) ・まるごと博物館事業の一環として「歴史さんぽin竹瓦」をH29年度に開催し、竹瓦橋の道標等、竹瓦の歴史に触れながら歩いてまわった。今後も村内の歴史文化継承伝達に取り組んでいく。		
石神	4	石神城址公園の放射線量測定について	村長	村民生活部	防災原子力安全課	②継続検討等	環境省の実証事業により、今年度中にJAEAの敷地内に撤出することになっている。撤出後の保管場所については、環境省「除染関係ガイドライン」に基づき、バックグラウンド放射線の変動範囲を超える汚染等が認められないことを確認するなど、保管開始前の状態(更地状)にすることを基本としている。	石神城址公園の除染土壌等の撤出は10月24日に完了し、保管開始前の状態(更地)にした上で、空間線量率を測定(10月25日)したところ、バックグラウンド放射線の変動範囲を超える汚染等は認められないことを確認した。	
石神	5	教育の観点での姉妹都市提携について(石神城址公園に関連して)	教育部長	教育委員会	生涯学習課	②継続検討等	石神城跡整備計画の策定や石神城跡を活用した事例を展開していく中で、地域住民の方々と課題を考えていく。	石神城跡整備計画の策定や石神城跡を活用した事例を展開していく中で、地域住民の方々と課題を考えていく。 平成31年1月に地域住民も委員となっている整備計画策定委員会を開催予定。	平成31年1月の整備計画策定委員会においては、まずは計画の内容や進め方についてのご意見をいただき、明確な課題の抽出には至っていないが、現状で姉妹都市提携に関してのご意見はない状況。引き続き計画策定及びワークショップ、石神城跡を活用するイベント等を展開していく中で考えていく。
石神	6	原子力関係の人材不足について	村長 産業部長	産業部	産業政策課	①対応済み	人材不足が生じている地域原子力中小企業の人材確保に向け、原子力人材育成・確保協議会を立ち上げ就職・面接会等開催するなど、その対策をしている。		
石神	7	原子力災害時の通信関係について(オフサイトセンターとの連携)	村民生活部長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	オフサイトセンターと関係自治体との通信連絡手段として、統合原子力防災ネットワークシステムを整備しており、TV会議システム、情報共有システム、IP電話、IPファクシミリを活用できる環境となっている。		

地区名	番号	質問内容	回答者		担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況		
							平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在
石神	8	原電線の歩道整備について	建設部長	建設部	都市整備課	②継続検討等	現状を確認したところ、法面からの土砂の流出や雑草の影響により、既存の歩道幅員が確保されていない区間がある。国道6号からマラン道路までは小学校の通学路には指定されていないため、既存の歩道幅員を確保できるよう、維持管理に努めていく。	原電線の歩道幅員が確保されていない区間の隣接地の地権者情報を収集した。今後、隣接地権者と歩道幅員を確保するための手法について協議を行っていく。	隣接地の地権者と協議を行い、歩道側にせり出している法面を掘削・整形することにより、歩道幅員を確保した。(3月)
石神	9	長松院前の歩道の狭さについて(案内標識等の見直し)	建設部長	建設部	都市整備課	②継続検討等	現地を確認したところ、案内標識およびカーブミラーを現状の位置より車道側へ移設することは困難な状況である。指摘の通り、局所的に歩道が狭くなっている状況があるので、支柱に反射材を設置し、注意喚起を行っていく。	案内標識およびカーブミラーの支柱に反射材を設置し、注意喚起を行った。(12月)	
石神	10	地域づくりについて(地域の個別のサポートが必要)	村長	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	今年度、「未来ビジョン」という取組を亀下区、緑ヶ丘区をモデル地区として実施している。モデル地区から地域づくりについて考えていき、今後は各単位自治会などでどのように展開していけるか考えていく。役場が先導するだけでは地域の個性がなくなってしまうので、役場ができることと地域でできることを地域と一緒に考えていきたい。(当日回答)	同左	4月以降も引き続き、亀下区、緑ヶ丘区をモデル地区として「未来ビジョン」の取組を進めていく。また、これらの活動を強力に推進するにあたり、平成31年度から新たに、国の「地域おこし協力隊」制度を活用し、非常勤職員として隊員1名を雇用する。これは、隊員がモデル地区での議論や実践に加わり、新たな視点からの手助けとなることで、これまでの固定観念に捉われない柔軟な発想で「地域未来ビジョン」を描くことをねらいとするものである。隊員には、地域力の維持・強化に関する取組を通じ、将来的には、本村の魅力づくりや地域活性化において中心的な役割を担ってもらうことを想定している。
石神	11	中丸コミセン入口のイチョウの伐採について	建設部長	建設部	都市整備課	②継続検討等	中丸コミセン入口のある、県道豊岡佐和停車場線は、茨城県が管理する道路となっている。管理する茨城県大宮土木事務所に問い合わせたところ、次のおり回答があった。 ①「中丸コミセン入口看板」が見えづらい件については、樹木剪定を実施する方向で検討しているが、剪定適正時期の対応になる。 ② 樹木(イチョウ)の下枝処理については、他地区でも同じような要望があるので、合わせて実施していきたい。	同左	12月中旬に樹木(イチョウ)の下枝処理が終了した報告があった。(3月)
石神	12	(仮称)歴史と未来の交流館について	教育長	教育委員会	生涯学習課	①対応済み	消防署の隣に建設予定である。(当日回答)		
石神	13	村バスについて	企画総務部長	企画総務部	総務課	②継続検討等	バスの更新について、買い替え又はリース等、どのような方法がよいのか安全性、経済性、運行管理等を比較検討している。	バスの更新は、安全性、経済性、運行管理等を比較検討し、車両と運転手を借りる貸切方式を考えている。	バスの更新は、安全性、経済性、運行管理等を比較検討した結果、平成32年1月の車検時以降は車両と運転手を借りる貸切方式とする。

地区名	番号	質問内容	回答者		担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況		
							平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在
石神	14	県営住宅の樹木の伐採について	村長	建設部	都市整備課	②継続検討等	茨城県から県営住宅の管理を委託されている(一財)茨城県住宅管理センター・工務課に問い合わせたところ、以下の回答があった。  ●毎月1回、県営住宅の住居環境について、入居者の代表者(連絡員)と打合せをさせていただいている。樹木の管理についても、その時に要望を受け付けている。 ●樹木の管理は年1回実施している。樹木の管理方法(通常の剪定、強剪定、伐採等)は、連絡員の要望によって決めている。 ●予算等の都合もあり、要望どおりに対応できない場合がある。その場合は、次の剪定時に対応している。 ●一部の入居者の声が連絡員(管理センター)に届いていない可能性がある。それとも、連絡員と管理センターとの打合せのタイミングが悪く、要望への対応が、次の剪定時にスライドしてしまっている。 ●直接、話を聞かせてほしい。  上記のとおり、「直接、話を聞かせてほしい」とのことだったので、(一財)茨城県住宅管理センターに問い合わせいただきたい。	左記のとおり、(一財)茨城県住宅管理センターに直接問い合わせいただきたい。	
石神	15	石神城址公園の普段の整備について	教育部長	教育委員会	生涯学習課	①対応済み	8/31に生涯学習課職員が草刈を実施。10月中にも1度草刈を実施予定である。例年、年4回程度草刈を実施しており、今後も状況に応じ、実施していく。		
石神	16	亀下区のモデル地区指定について(未来ビジョンに関して)	村長	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	9月末時点で亀下区で4回、地域の方と話し合いの場を設けさせていただいた。亀下区では若い世代をどう取り込んでいくかなどが課題となっており、地域の方々と今後について話し合っていきたい。(当日回答)	12月末時点で亀下区で5回、地域の方と話し合いの場を設けさせていただいた。亀下区では若い世代をどう取り込んでいくかなどが課題となっており、次回は若い世代も含めての話し合いを予定している。	これまでの話し合いから、平成31年度は亀下区を今後さらに活気づけるために、地域のみとまりがあり、これまで40回ほど実施されてきたイベントである運動会について検討し、もう一度盛り上げる。
石神	17	にじのなか前の横断歩道について	村民生活部長	村民生活部	環境政策課	②継続検討等	7/19 ひたちなか署交通課へ自治会からの要望として提出した。その後、警察と自治会で現場立ち合い、現在は県公安委員会で審議中。結果が分かり次第自治会へ報告する。	同左	同左
村松	18	原発の再稼働についての意見の集め方について	村長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	住民投票も1つの方法だが、結果は○か×かになってしまふことから、住民の皆さんが冷静に判断できる情報をどう伝えていくかなどの課題もあり、今のところ住民投票を行う考えはない。(当日回答)		
村松	19	単位自治会レベルでの座談会の開催について	-	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	平成30年度から村政懇談会の開催方法等については地区自治会と協議し決定することとなった。今後も地区自治会との協議の上、より良い開催方法を模索していく。	同左	平成31年度の村政懇談会の開催方法については4月に各地区自治会と協議をさせてもらう予定である。その中で、自治会の意見を反映させていきたい。
村松	20	再稼働の可否について	村長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	原電が東海第二発電所を稼働及び延長運転をしようとするときにおいて、まずは6市村それぞれに事前説明及び意見交換が行われる。その後、必要に応じて「協議会」を開催し、6市村による合意形成を図ることとなる。		
村松	21	絆と中丸小学校の間の信号機について(感応式にはならないか)	村長	建設部	都市整備課	①対応済み	ひたちなか警察署に問い合わせたところ、感応式信号機については、当該路線が全線開通されることにより周辺の土地利用が活性化されるなど、相応の交通量が見込まれることから現在の定周機信号機になっている。しかし、現在の交通状況もあるので信号機の時限調整を実施していくと回答を得ている。すでに調整したと報告を受けた。		

地区名	番号	質問内容	回答者	担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況			
						平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在	
村松	22	冠水等で通行止めにする道路の呼び方について	村長	建設部	都市整備課	②継続検討等	自然災害等で通行止めにする道路の呼び方については、村道名と合わせて隣接する施設名を入れるなど、分かりやすく周知できるよう工夫していく。	同左	
村松	23	茨城東病院前道路の沈下の監督について	建設部長	建設部	都市整備課	①対応済み	施工管理を適切に行い、抜打ちでアスファルト舗装の厚みの確認を行っている。	アスファルト舗装施工前に、上層路盤の出来形について監督員立会いの下で確認を実施した。アスファルト舗装の厚みは抜打ちで4箇所においてコアを採取し、設計値以上の厚みがあることを確認した。(12月)	
村松	24	震災後の村内道路の改修について	村長	建設部	都市整備課	①対応済み	幹線道路の舗装修繕は今年度で終了する予定である。生活道路については今年度より計画的に修繕を進めていく。		
村松	25	アイヴィルの1階ロビーについて(インフォメーションがなぜないのか)	村長	産業部	産業政策課	②継続検討等	観光協会の課題として協議を進めていくが、財源も含め、独自に人員雇用ができる体制も不十分であるため、観光協会の体制強化と合わせて検討する。	同左	同左
村松	26	村松晴嵐の枯れた松の伐採、松の育成について	村長	産業部	農業政策課	②継続検討等	土地所有者である原子力機構に適切な松枯れ対策を行うよう依頼した。(9月実施)	土地所有者である原子力機構に依頼内容に伴う現況について確認。①八間道路の伐倒処理は既に完了②晴嵐の碑の伐倒処理も12月中に完了③新たに枯れてしまった数本の松については来年度処理予定。	①土地所有者である原子力機構により、八間道路、晴嵐の碑の伐倒処理は完了。②今後の対策についても、伐倒処理や環境整備は土地所有者である原子力機構に依頼し、了承済。③村の対策としては、平成31年度から市町村に入る森林環境譲与税を活用して晴嵐の碑周辺の植樹を予定。
村松	27	東海駅東のケヤキの木の伐採について	村長	建設部	都市整備課	①対応済み	街路樹については交通安全上も剪定は必要なことから適正な管理を行っていく。		
村松	28	コミセンが避難場所であることの是非について(照沼区民はコミセンには行かない)	村長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	平成29年7月に実施した広域避難訓練の一時集合場所として、村松コミセン及び真崎コミセンの2ヶ所を指定したが、訓練の都合上村内の全10ヶ所の一時集合場所の開設は行わなかった。照沼区の一時的集合場所は照沼小学校としている。		
村松	29	役場内の組織改編及び配置換えについて	村長	総務部	人事課	①対応済み	二期目に入って、やりたいことも色々あるほか、仕事の中身も変わってきている。国や県から降りてくるものもあるし、皆さんからのニーズもある。再編については任期期間中の4年間は変えるつもりはない。(当日回答) 組織改編については、(1)緊急度や優先度が高い施策や将来を見据えた施策に対応する組織とする。 (2)従来の体制にとらわれず、効率的・効果的な組織運営のための事務事業の整理と再配分を行う。 という基本方針で実施。各課の配置は、庁舎内において、配置がわかりやすいよう課名表記の統一や正面玄関に配置案内版を設置している。		

地区名	番号	質問内容	回答者		担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況		
							平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在
村松	30	村政懇談会の出席者について	村長	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	村政懇談会の出席者が役場職員が多いとのことであるが、役場職員は自主的に参加しているのでご理解いただきたい。今後は多くの村松地区住民が参加できるように開催方法を地区自治会とともに検討していきたい。	同左	平成31年度の村政懇談会の開催方法については4月中旬に村松地区自治会と協議をさせてもらう予定である。その中で、多くの村松地区住民が参加できる方法を地区自治会と一緒に考えたい。
村松	31	生活道路補修の対応について	村長	建設部	都市整備課	①対応済み	生活道路については今年度より計画的に修繕を進めていく。		
村松	32	国道245号拡幅に伴う周辺の観光について	村長	企画総務部	企画経営課	②継続検討等	国道245号拡幅に伴う、村松地区の活性化については、現在、「東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会」にて、計画(案)を検討している。会議開催2回(6/6、8/6)。	国道245号拡幅に伴う、村松地区の活性化については、現在、「東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会」にて、計画(案)を検討している。会議開催4回(6/6、8/6、10/10、12/19)。	国道245号拡幅に伴う、村松地区の活性化については、現在、「東海村(仮称)村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会」にて、計画(案)を検討している。会議開催5回(6/6、8/6、10/10、12/19、3/25)。
村松	33	原発再稼働に関する茨城方針について	村長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	福島事故では、所在自治体のみならず、周辺自治体も大きな影響を受けた。安全協定の枠組み拡大により、事業者における安全対策等について、周辺自治体で議論していく必要がある。(当日回答)		
村松	34	くらしの便利帳への医療機関の掲載について	村長	企画総務部	秘書広報課	①対応済み(12月末)	「くらしの便利帳」は、民間事業者により製作されており、広告条件等により地図上への医療機関一覧の掲載が難しい状況である。そのため、内容を全庁的に共有し、関係各課においても実施検討したい。	各課配布物等への掲載を検討したが、現状の各広報媒体への掲載は困難な状況であるため、次回「くらしの便利帳」作成の際に、医療機関の掲載について、事業所へ呼びかけたい。	
村松	35	国道245号拡幅に伴う裏路地の安全確保について	村長	建設部	都市整備課	②継続検討等	関係機関と検討していく。	茨城県大宮土木事務所へ国道245号拡幅の進捗に伴い、う回路等が生じる場合は関係自治会と調整の上、実施するよう要望した。	
村松	36	コミュニティスクールの学校授業への影響について	教育長	教育委員会	指導室	①対応済み	先生方の負担ではなく先生方も子どもたちも地域の方にもメリットがある旨の説明を行っていただいた。(当日回答)		
村松	37	川根から照沼小学校に向かう通学路の除草について	村長	建設部	都市整備課	①対応済み	村道0202号線の除草は年に2回実施している。後日、確認したところ1回目の除草は終了した。時期により草が繁茂するので注視していく。		
中丸	事前質問	JR東海駅東側における送迎車待機場所の増設について	都市整備課長	建設部	都市整備課	②継続検討等	現状で待機場所を増設するのは物理的に非常に困難であるが、早急に対応しなければならない問題と認識している。どのような対策が有効か、危機感をもって検討していく。	必要性については強く認識しているため、引き続き検討していく。	整備の可能性検討のため、測量調査を実施。(3月)

地区名	番号	質問内容	回答者		担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況		
							平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在
中丸	38	繰入金の残金、税収減の対策について	村長	企画総務部	企画経営課	①対応済み			
							<p>財政調整基金は、歳入歳出予算の財源調整のため見込みで予算計上している。平成30年度当初予算においても8億円程の繰入れを見込んでいるが、予算執行の段階で、無駄を省き、切り詰めるとともに、前年度の決算剰余金を財政調整基金に積立てるため、基金残高の実質的な減少額は1～2億円程度である。</p> <p>ただし、基金繰入れにも限度があるため、新たな歳入確保対策として、新規産業の育成や公共施設のネーミングライツ・広告掲載などの取組みを行っていききたい。(当日回答)</p>		
中丸	39	地域づくりについて(提案だけでなく具体的に進めてほしい)	村長	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	同左		<p>4月以降も引き続き、亀下区、緑ヶ丘区をモデル地区として「未来ビジョン」の取組を進めていく。また、これらの活動を強力に推進するにあたり、平成31年度から新たに、国の「地域おこし協力隊」制度を活用し、非常勤職員として隊員1名を雇用する。これは、隊員がモデル地区での議論や実践に加わり、新たな視点からの手助けとなることで、これまでの固定観念に捉われない柔軟な発想で「地域未来ビジョン」を描くことをねらいとするものである。隊員には、地域力の維持・強化に関する取組を通じ、将来的には、本村の魅力づくりや地域活性化において中心的な役割を担ってもらうことを想定している。</p>
中丸	40	自治会連合会の解散理由、総括、課題について	村長	村民生活部	地域づくり推進課	①対応済み			
									<p>東海村自治会連合会は最終的に法人格を持たない任意団体になり、自立したことにより、役場も連合会と距離を置いてしまい、意思疎通がうまくいかなくなった経緯がある。自治会連合会は平成29年度末に解散したことから、今後は役場が連合会に変わる自治会長間の連絡会議等を行う。(当日回答)</p>
中丸	41	地域づくりについて(自治会と密にやってほしい)	-	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	同左		<p>今年度、「未来ビジョン」という取組を亀下区、緑ヶ丘区をモデル地区として実施している。モデル地区から地域づくりについて考えていき、今後は各単位自治会でどのように展開していかれるか考えていく。役場が先導するだけでは地域の個性がなくなってしまうので、役場ができることと地域ができることを地域と一緒に考えていききたい。(当日回答)</p>

地区名	番号	質問内容	回答者		担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況		
							平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在
中丸	42	東海病院の医者の異動について	村長 福祉部長	福祉部	福祉総務課	②継続検討等	9月末日で常勤医師1名が退職したことから、診療に影響が出ないよう非常勤医師を配置したが、今後も常勤医師の確保に向け、継続的に努力していく。また、主治医が代わった患者様に対しては、より丁寧に対応することで不安等を解消していきたい。(当日回答)	非常勤医師を配置することで常勤医師が退職する前の診療体制を維持しているが、継続して常勤医師確保に努めている。	同左
中丸	43	区画整理の清算における説明会について	区画整理課長	建設部	区画整理課	②継続検討等	10月に全体説明会を開催予定。 (全3回)	説明会 3回実施済 第1回 10月7日(日)AM10時～97名参加 第2回 10月12日(金)AM10時～25名参加 第3回 10月12日(金)PM6時～17名参加	同左
中丸	44	東海病院の医者の確保について	村長	福祉部	福祉総務課	②継続検討等	9月末日で常勤医師1名が退職したことから、診療に影響が出ないよう非常勤医師を配置したが、今後も常勤医師の確保に向け、継続的に努力していく。また、主治医が代わった患者様に対しては、より丁寧に対応することで不安等を解消していきたい。(当日回答)	非常勤医師を配置することで常勤医師が退職する前の診療体制を維持しているが、継続して常勤医師確保に努めている。	同左
中丸	45	区画整理の清算金の支払い方法について	村長	建設部	区画整理課	②継続検討等	9月末発送予定の換地処分通知にて、支払い方法の周知予定 (基本H31年明け～、分割払い有)	12月議会にて清算金分割払いの利率を見直す条例の一部改正を上程し、議決された。内については、実質年率を1%程度に改定した。なお、換地処分は平成31年1月18日に予定される。	換地処分が平成31年1月18日に実施された。徴収清算金については、平成31年4月中に清算金確定通知と併せて、納入通知書を送付する。支払い方法については、一括払いと分割払いが選択できる。金融機関から振り込んでいただく窓口での現金払いとなる。
中丸	46	村政懇談会が出た質問に対するフォローについて(実行されたかどうか分からない)	村長 地域づくり推進課長	村民生活部	地域づくり推進課	①対応済み	今年度から村政懇談会が出された質問について、より詳細な回答をするようにし、随時コミセンへの掲示やホームページへの掲載を行う。(当日回答)		
中丸	47	きょうだいでの子どもの学童入所について	福祉部長	福祉部	子育て支援課	①対応済み(12月末)	・公立学童クラブでは、保育所と同様に、入所希望者が募集人数を超えた場合は入所調整を行って入所者を決定している。(現在、公立学童クラブでは、きょうだいは同じ学童クラブに入所できている。)そのため、申込者個々の入所の必要性から判断して、結果的にきょうだいでも別々の学童クラブになってしまうことがあることから、現在、可能な限り、きょうだいと同じ学童クラブに入所できるよう調整方法を検討中。	・入所調整を行う際に、在所児童のきょうだいについて考慮した上で、入所の必要性を判断するよう指定管理者に指導し、入所の調整基準を一部改めることとした。	
中丸	48	広域避難計画策定のスケジュールについて	村長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	平成30年度中の策定を1つの目標としているものの、訓練を実施することで認識した課題の解決を進めることなどにより、村民の理解を得られる計画となるよう策定を進めている。(当日回答)		

地区名	番号	質問内容	回答者	担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況			
						平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在	
中丸	49	原子力災害時の要支援者への放射線対策について	村長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	PAZ(予防的に避難等の防護措置を準備する区域)に該当する本村においては、要支援者についても放射性物質の放出前に避難を実施することを原則としているが、福祉車両等の直ちに確保することが困難な車両を必要とする要支援者のために、病院や社会福祉施設等の施設において放射線防護対策工事を進めているほか、在宅の要支援者の屋内退避施設として総合福祉センター「絆」において放射線防護対策工事を実施している。		
中丸	50	学校の暑さ対策について(湿度等を測っているのか)	村長 教育部長	教育委員会	学校教育課	①対応済み	各小中学校の教室の温度・湿度調査済みである。学校に対し、どこが暑いのか、場所によっては風通しが良いところもあるか、悪いところがあるかなど、現状を確認済みである。 なお、来年度にむけて、村内の小中学校における普通教室等に空調機器を設置を決定した。		
中丸	51	水道事業の民営化について	村長	建設部	水道課	①対応済み	各種水道施設改修や整備のため、水道料金を値上げした。 現在一部管理委託をしており、今すぐの民営化は考えていない。水道事業広域化の可能性や下水道の企業会計化等を視野に入れつつ今後判断していく。(当日回答)		
中丸	52	東海駅西の車対策について(駐車場がない)	村長	建設部	区画整理課	②継続検討等	原状調査及び対策検討する。	引き続き、原状調査及び対策検討するが、区画整理課だけの問題ではないため、案を検討し、関係各課と協議をする。	平成31年3月末をもって、交番裏に主に送迎用のコインパーキングが完成したため、4月10日号の村報にて利用を促し、現状を注視したい。
中丸	53	アイヴィルの屋上のカラスの糞対策について	村長	産業部	産業政策課	②継続検討等	昨年の冬季も含めて、アイヴィル屋上及び周辺にカラスが大量発生している状況は認識していない。今年の冬季に向けて再確認する。	12月末現在、アイヴィル屋上及び周辺にカラスが大量発生している状況は確認できなかった。	
中丸	54	都市整備課のメール返信について	村長	建設部	都市整備課	①対応済み	メールの返信(回答)の確認が取れた。今後、相談の内容にもよるが、早期な返信に心がけていく。(当日回答)		
舟石川・船場	55	副村長や教育長と話す機会について	村長	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	副村長や教育長と話す機会については、地域から要望があった際に3役で話し合いの上決定する。	同左	同左
舟石川・船場	56	子ども会や青少年育成に対する若い世代の考え方の聞き取りについて	村長	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	今年度始めた「未来ビジョン」という取組の中で聞き取りをしていく。	同左	同左



地区名	番号	質問内容	回答者	担当課	分類	対応状況			
						平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在	
舟石川・船場	57	自治会加入対策について(アパート入居者への勧誘ができないか)	村長	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	アパートに住んでいる人は一時的な住まいという感覚の方が多いため勧誘しても成果をあげにくい。戸建ての方の自治会加入率を上げていきたい。	同左	同左
舟石川・船場	58	ゴミ出しの問題について	村長	村民生活部	環境政策課	②継続検討等	住宅建設時にゴミ集積所の設置を義務付けすることはできない。新規のゴミ集積所設置については、個別に相談に応じている。また、一定の条件を満たす場合は戸別回収も実施している。	同左	同左
舟石川・船場	59	船場区第5集積所近くの資源物置き場のフェンス設置について	村長	村民生活部	環境政策課	①対応済み	後日、質問者立ち合いのもと現場を確認し、所管課と協議した結果、フェンスの設置は出来ないと判断し質問者へ伝えた。資源物が隣接する田や用水路に落ちるとのことであったため、当該で配布しているシートカバーの使用やレイアウトの工夫等の提案を行った。		
舟石川・船場	60	SPEEDIの情報について(国に対して情報を出すよう要求してほしい)	村長 村民生活部長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム(SPEEDI)の運用については、平成26年に原子力規制委員会において、「原子力災害発生時に、いつどの程度の放出があるかを把握すること及び気象予測の持つ不確かさを排除することはいずれも不可能であることから、SPEEDIによる計算結果に基づいて防護措置の判断を行うことは被ばくのリスクを高めかねない」との判断により、SPEEDIによる計算結果を防護措置の判断に使用しないことを発表している状況である。 一方で、茨城県においては、国に対してより精度の高い拡散予測システムの構築を要望しており、また、平成30年3月に改訂された茨城県地域防災計画(原子力災害対策計画編)においては、「拡散予測システムの整備に努めるものとする」との記載が追加されたところである。		
舟石川・船場	61	避難マニュアルの作成について	村長	村民生活部	防災原子力安全課	②継続検討等	村と避難先自治体が連携した上で、避難住民が自主的かつ円滑な避難所運営を可能にするために、「広域避難計画受入マニュアル」(案)を作成しており、広域避難訓練の実施等を通して得られた課題等を受けて、必要な見直しを進めることとする。	村と避難先自治体が連携した上で、避難住民が自主的かつ円滑な避難所運営を可能にするために、「広域避難計画受入マニュアル」(案)を作成しており、広域避難訓練の実施等を通して得られた課題等を受けて、必要な見直しを進めている。	村と避難先自治体が連携した上で、避難住民が自主的かつ円滑な避難所運営を可能にするために、「広域避難計画受入マニュアル」(案)を作成しており、訓練の実施等を通して得られた課題等を受けて、必要な見直しを進めている。

地区名	番号	質問内容	回答者		担当課	分類 ①対応済み ②継続検討等 (継続的に対応が必要であるもの)	対応状況		
							平成30年9月末現在	平成30年12月末見込み	平成31年3月末現在
舟石川・船場	62	舟石川コミセンのホール拡張について	村民生活部長	村民生活部	地域づくり推進課	②継続検討等	ホールの拡張に関しては、何度か御意見をいただいているが、コミセンの構造上検討が必要である。舟石川コミセンにおいては、平成32年度に実施予定の内装改装の際に併せて調査をするので御理解いただきたい。また、大きな行事の際は舟石川小学校の体育館等の利用も検討していただきたい。(当日回答)	同左	同左
舟石川・船場	63	原発が稼働しない中でのヨウ素剤配布について	村民生活部長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	発電用原子炉では、廃止措置計画の認可を受け、かつ、十分な期間冷却されたものとの原子力規制委員会の判断がない限り、半径5キロの区域をPAZ(予防的防護措置を準備する区域)と設定しており、本村では、安定ヨウ素剤を事前に配布することとしている。(当日回答)		
舟石川・船場	64	防災無線を地区内で活用することについて	村民生活部長	村民生活部	防災原子力安全課	①対応済み	緊急事態の発生・発生予測時には、防災行政無線屋外子局を使って、おおむね1区民に対して情報提供を行うことが可能であるが、その放送ができるのは電波法で防災行政無線の免許人である村・消防職員及び消防団員に限られているため、地域イベント等、免許人でない者による通信を行うことは難しい。		
舟石川・船場	65	自治会と役場の担当者での話し合いの機会について	村長	村民生活部	地域づくり推進課	①対応済み	地域から話し合いの場の提供を要望された場合は地域づくり推進課で対応する。(当日回答)		
舟石川・船場	66	東海駅西口の一般車の車寄せの増設と月極駐車場を時間貸にすることについて	村長	建設部	区画整理課	②継続検討等	現状確認する。	引き続き、現状確認する。	平成31年3月末をもって、交番裏に主に送迎用のコインパーキングが完成したため、4月10日号の村報にて利用を促し、現状を注視したい。